

大阪市高齢者実態調査等項目修正案（委員からのご意見等）

NO	委員名	設問（修正前）	ご意見・ご質問等	ご意見に対する本市の考え方	設問（修正後）	担当課	参考資料 関連ページ
本人調査							
1	中山委員 【介護保険部会】 R7. 2. 20	問 3 あなたの世帯の状況についてお答えください。 1 ひとり暮らし 2 夫婦 2 人暮らし（配偶者 6 5 歳以上） 3 夫婦 2 人暮らし（配偶者 6 4 歳以下） 4 1 ～ 3 以外の世帯で、全員 6 5 歳以上 5 その他の世帯 ※この調査における「ひとり暮らし」には、有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅などの共同住宅において、ご自身の専用の部屋にひとりでお住まいの方も含まれます。	サ高住にお住まいの方なども一人暮らしとお答えくださいと書かれており、他の調査の一人暮らしと定義の仕方が違うのでは。共同住宅でお暮らしの方と、ご自宅で 1 人でお暮らしの方というのは、日常生活で不安に思うことなど、感じる事が違ってくると思う。	ご意見を踏まえ、設問修正	あなた <u>と同居されている家族の</u> 状況についてお答えください。 1 <u>単身</u> （ひとり暮らし） 2 夫婦 2 人暮らし（配偶者 6 5 歳以上） 3 夫婦 2 人暮らし（配偶者 6 4 歳以下） 4 1 ～ 3 以外の世帯で、全員 6 5 歳以上 5 その他の世帯 <u>（1 ～ 4 以外の世帯）</u>	高齢福祉課	[1-1-1] 3
2	早瀬委員 【保健福祉部会】 R7. 2. 27	問4 あなたの介護保険の申請、認定状況は、次のどれにあてはまりますか。 1 申請していない 2 現在申請中である（結果がでていない） 3 非該当（自立） 4 事業対象者 5 要支援 1 6 要支援 2 7 要介護 1 8 要介護 2 9 要介護 3 10 要介護 4 11 要介護 5 12 わからない	問 4 の選択肢 4 「事業対象者」の説明は、別紙の用語説明に書くのではなく、問 11 のように設問のすぐ下に記載したほうが分かりやすいのではないか。別紙に書くものと設問の下に書くもののとの区別をつけてほしい。	ご意見を踏まえ、問 4 の選択肢 4 「事業対象者」の説明は、設問の下に記載する。その他にも、設問の下に記載したほうが分かりやすい用語説明については、別紙ではなく、設問の下に記載する。	—	高齢福祉課	[1-1-1] 4
3	早瀬委員 【保健福祉部会】 R7. 2. 27	問6-1 あなたは、日常生活全般で不安に感じることはどのようなことですか。 1 あなたやご家族の健康のこと 2 急に具合（体調）が悪くなったりした時のこと 3 日常の食事づくり 4 ひとりでの買い物など外出すること 5 頼れる人がいなくなること 6 人（近隣、親戚、知人など）との付き合いのこと 7 預貯金の入出金や光熱費の支払いなど、日々のお金を管理すること 8 生活のための収入や預貯金が減少すること 9 土地や家屋など財産のこと 10 困りごとなど相談する相手がいらないこと 11 こどもや孫の自立に関すること 12 悪質商法・いわゆる「オレオレ詐欺」などの特殊詐欺の被害にあうこと 13 自分自身やご家族が認知症になること 14 地震や水害など災害に関すること 15 その他	選択肢 5 に「頼れる人がいなくなること」が、選択肢 10 に「困りごとなど相談する相手がいらないこと」とあるが、この 2 つの選択肢は続けた方がいいのではないか。選択肢 7， 8， 9 が財産に関することで、その後に選択肢10が来ているのは逆ではないかと思う。選択肢12の「悪質商法・いわゆる「オレオレ詐欺」などの特殊詐欺の被害にあうこと」は選択肢 9 の後のほうがいいと思う。	ご意見を踏まえ、設問修正	あなたは、日常生活全般で不安に感じることはどのようなことですか。 1 あなたやご家族の健康のこと 2 急に具合（体調）が悪くなったりした時のこと <u>3 自分自身やご家族が認知症になること</u> <u>4 家事や軽作業などのこと（食事づくりやひとりでの買い物、掃除、洗濯など）</u> 5 頼れる人がいなくなること <u>6</u> 困りごとなど相談する相手がいらないこと 7 預貯金の入出金や光熱費の支払いなど、日々のお金を管理すること 8 生活のための収入や預貯金が減少すること <u>9</u> 地震や水害など災害に関すること <u>10</u> その他	高齢福祉課	[1-1-1] 5
	榎田委員 【保健福祉部会】 R7. 2. 27		選択肢 3 「日常の食事づくり」、選択肢 4 「ひとりでの買い物など外出すること」について、内容が細かいのではないか。				

No	委員名	設問（修正前）		ご意見・ご質問等	ご意見に対する本市の考え方	設問（修正後）	担当課	参考資料 関連ページ
本人調査								
4	榑田委員 【保健福祉部会】 R7. 2. 27	問6-2	—	問6に関連して、不安があったら次は相談に行きたくなると思うが、相談先を問う質問はないのか。医療の相談先は設問で設けられているが、いろいろ困ったときに、どこに相談に行こうと思ってるのか、とか、実際に相談に行くところがあるとかといったような設問があった方が、今後の啓発として、様々な方法、相談先があることの意識づけになると思う。	ご意見を踏まえ、設問追加	問6-2 日常生活全般で不安を感じた時、どこ（誰）に相談されますか。（〇はいくつでも） 1 友人・知人 2 民生委員 3 地域包括支援センターまたは総合相談窓口（プランチ） 4 区役所・保健福祉センター 5 こころの悩み電話相談 6 老人福祉センター 7 どこ（誰）にも相談しない 8 わからない 9 その他	高齢福祉課	[1-1-1] 6
5	早瀬委員 【保健福祉部会】 R7. 2. 27	問8	あなたは、情報通信機器を使って、どのようなことをされますか。あてはまるものをすべてあげてください。 1 固定電話やファックスで家族・友人などと連絡をとる 2 パソコンの電子メールで家族・友人などと連絡をとる 3 携帯電話・スマートフォンで家族・友人などと連絡をとる（LINEや携帯電話のメールを含む。） 4 インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする 5 SNS（Twitter、facebook、Instagramなど）を利用する 6 ビデオ通話（LINE、Zoom、Skypeなど）を行う 7 ゲームをする 8 ホームページやブログへの書き込みまたは開設・更新をする 9 ネットバンキングや金融取引（証券・保険取引など）をする 10 国や市など行政の手続きをインターネットで行う（電子政府・電子自治体） 11 いずれも使わない	問7で問うているものの中には、テレビ、ラジオ、固定電話、FAXとあるが、問8では、テレビ、ラジオを想定した質問になっていないが、それでいいのか。選択肢5にTwitterとあるが、今はXとなっており、記載方法を変えた方がいいのではないか。また、選択肢2にパソコンとあるが、パソコンとは普通は文章を作るものと思うが、電子メールを作成するものなのか、表現を検討してほしい。	ご指摘を踏まえ、設問修正。 なお、問8においては、テレビ・ラジオ以外の情報通信機器の活用方法を確認し、今後の介護予防施策の検討等に活用したいと考えている。	あなたは、情報通信機器を使って、どのようなことをされますか。あてはまるものをすべてあげてください。 1 固定電話やファックスで家族・友人などと連絡をとる 2 パソコンを使用して電子メールで家族・友人などと連絡をとる 3 携帯電話・スマートフォンで家族・友人などと連絡をとる（LINEや携帯電話のメールを含む。） 4 インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする 5 SNS（X（旧Twitter）, facebook、Instagramなど）を利用する 6 ビデオ通話（LINE、Zoomなど）を行う 7 ゲームをする 8 ホームページやブログへの書き込みまたは開設・更新をする 9 ネットバンキングや金融取引（証券・保険取引など）をする 10 国や市など行政の手続きをインターネットで行う（電子政府・電子自治体） 11 いずれも使わない	地域包括ケア推進課	[1-1-1] 8
6	中西委員 【認知症施策部会】 R7. 2. 26	問16	—	共生社会の実現を推進するための認知症基本法についての設問を追加いただきたい。	ご指摘を踏まえ、設問追加	あなたは『共生社会の実現を推進するための認知症基本法※』を知っていますか。（〇はひとつ） 1 名称も内容も知っている 2 名称は知っているが、内容は知らない 3 名称も内容も知らない ※『共生社会の実現を推進するための認知症基本法』…認知症の本人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすことができるよう、認知症施策を総合的かつ計画的に推進し、共生社会の実現を推進することを目的として令和6年1月に施行された	地域包括ケア推進課	[1-1-1] 12
7	野口委員 【保健福祉部会】 R7. 2. 27	問18	あなたは、孤立死についてどのように考えますか。 1 身近に感じる 2 やや身近に感じる 3 あまり身近に感じない 4 身近に感じない 5 わからない	孤独・孤立対策推進法について知らない方が結構おられる。孤立死に関して、どこに相談したらいいか分からないといった意見が出てくると思う。対応策や相談先をPRできるような質問にならないか。	孤独・孤立に特化した相談先はないが、ご意見を踏まえ、問6-2の設問の下に高齢者福祉に関する相談窓口一覧を記載する。	—	地域福祉課	[1-1-1] 6

No	委員名	設問（修正前）		ご意見・ご質問等	ご意見に対する本市の考え方	設問（修正後）	担当課	参考資料 関連ページ
本人調査								
8	早瀬委員 【保健福祉部会】 R7. 2. 27	問18-1	あなたが身近だと感じる理由は次のどれにあたりますか。 1 親族との付き合いが少ないから 2 近所との付き合いが少ないから 3 友人との付き合いが少ないから 4 あまり外出しないから 5 病気がちで、健康に不安があるから 6 その他 7 特に理由はない	一人暮らしだから、という 選択肢がまずあるものではないか。 孤立死は一人暮らしの方ということで、当然だから入ってないということなのかもしれないが、気になった。	ひとり暮らしの回答者については、 属性別の分析を行っている。	—	地域福祉課	[1-1-1] 14
9	早瀬委員 【保健福祉部会】 R7. 2. 27	問21	あなたは、地域包括支援センターまたは総合相談窓口（プランチ）を利用したことがありますか。 1 利用したことがある（知っている） 2 知っているが、利用したことはない 3 聞いたことはあるが、何をするとところかわからない 4 聞いたことがない（知らない）	選択肢1の「利用したことがある（知っている）」について、（知っている）という表記は必要なのか。 選択肢1は「利用したことがある」、選択肢2は「知っているが、利用したことはない」ということで、カッコの指定はなくてもいいのではないか。	ご指摘を踏まえ、設問修正	あなたは、地域包括支援センターまたは総合相談窓口（プランチ）を利用したことがありますか。 1 利用したことがある 2 知っているが、利用したことはない 3 聞いたことはあるが、何をするとところかわからない 4 聞いたことがない（知らない）	地域包括ケア推進課	[1-1-1] 16
10	中山委員 【介護保険部会】 R7. 2. 20	問24	特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）の整備についておたずねします。特別養護老人ホームの整備が進めば、介護保険料が高くなりますが、あなたは、今後の整備についてどう思われますか。 1 介護保険料がある程度高くなっても、今後も特別養護老人ホームを増やす必要があると思う 2 特別養護老人ホームをこれ以上増やす必要はないと思う 3 わからない	介護保険サービスの費用負担の感覚を聞いているが、65歳以上の一般の高齢者の中には、介護保険サービスに詳しくない方もいらっしゃると思う。中身がわからなくて、保険料が高いのか、安いのか、介護保険サービスがどんなものがあって、充実させるのに必要だから高くなってもよいと思うのか、いや、こういうサービスは要らないのではということが、元になる資料がないとわかりにくい。 特に特別養護老人ホームの整備については、利用率や待機人数がどれぐらいであるかということがわからないと、これ以上増やす必要がないかということも、判断できないと思う。	ご意見を踏まえ、設問を修正	特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）の整備についておたずねします。 令和7年7月1日現在、特別養護老人ホームは14,803人分整備されており、必要性・緊急性の高い入所申込者が概ね1年以内に入所できている状況になっています。 特別養護老人ホームの整備が進めば、 在宅よりも施設の方が介護サービス費用が高く、介護保険料にも影響します。 あなたは、今後の整備についてどう思われますか。	高齢施設課	[1-1-1] 19
		問25	介護保険サービスの充実が進めば、介護保険料が高額になっていきますが、あなたは、今後の介護保険サービスについてどう思われますか。 1 介護保険料がもっと高くなっても、介護保険サービスを充実させる必要があると思う 2 介護保険料が高くなるのは困るが、介護保険サービスを充実させる必要があると思う 3 介護保険料が高くなるなら、介護保険サービスをこれ以上充実させる必要はないと思う 4 介護保険料を下げるために、介護保険サービス利用の適正化が必要だと思う 5 わからない		ご意見を踏まえ、介護保険サービスについて、参考資料1－1－2本人調査 調査票の別紙に内容を記載する。	介護保険サービスの充実が進めば、介護保険料が高額になっていきますが、あなたは、今後の介護保険サービスについてどう思われますか。 1 介護保険料がもっと高くなっても、介護保険サービスを充実させる必要があると思う 2 介護保険料が高くなるのは困るが、介護保険サービスを充実させる必要があると思う 3 介護保険料が高くなるなら、介護保険サービスをこれ以上充実させる必要はないと思う 4 介護保険料を下げるために、介護保険サービス利用の適正化が必要だと思う 5 わからない ※介護保険で利用できる主なサービスの説明は別紙参照	介護保険課	[1-1-1] 20
11	早瀬委員 【保健福祉部会】 R7. 2. 27	問27	次の施設や事業について、あなたの利用状況や意向をお答えください。 ⑤就労的活動支援事業（有償・無償のボランティア活動）	「有償ボランティア」という表現について、「有償の市民活動」などという表現に直していただいた方が良いと思う。	ご指摘を踏まえ、設問修正	次の施設や事業について、あなたの利用状況や意向をお答えください。 ⑤就労的活動支援事業（無償のボランティア活動 や有償の市民活動 ）	地域福祉課	[1-1-1] 21

No	委員名	設問（修正前）		ご意見・ご質問等	ご意見に対する本市の考え方	設問（修正後）	担当課	参考資料 関連ページ
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査								
12	小谷委員 【介護保険部会】 R7. 2. 20	問3(6)	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。 （成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です） 1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	最近インプラントを入れている高齢者もたくさんいる。インプラントの扱いは、自分の歯の本数でも、入れ歯でもない。今回は大丈夫だと思うが、今後はそういったところも検討してほしい。	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査については、厚生労働省より調査項目が示されているため、今回はこのまま例示どおりの設問とするが、ご意見は今後の調査の参考とさせていただきます。	—	介護保険課	[1-5] 6
介護サービス利用者・未利用者・介護者調査								
13	早瀬委員 【保健福祉部会】 R7. 2. 27	利用者 問23 未利用者 問22	歯の数と入れ歯の利用状況をお答えください。 （成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です） 1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	自分の歯の本数をきちんと知っている人がどれくらいいるのか。「わからない」という選択肢があっても良いのではないかな。	本設問については、事業対象者・要支援者を対象とした介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における国が定める設問・選択肢を使用しており、要介護認定者の状況把握のため本調査において同内容の設問を設定している。わからない方については、無回答となるものと考えている。	—	地域包括ケア推進課	利用者 [1-2-1] 21 未利用者 [1-2-2] 15
14	新田委員 【認知症施策部会】 R7. 2. 26	利用者 問43 未利用者 問42	あなたが、自宅での介護を行ううえで困っていることはどのようなことですか。（〇はいくつでも） 1 介護(対応)方法がわからない 2 介護の手助けをしてくれる人がいない 3 ストレスなどの精神的な負担が大きい 4 身体的な負担が大きい 5 経済的な負担が大きい 6 仕事との両立が難しい 7 育児もあり負担が大きい 8 自分の時間がもてない 9 家族や近隣の人等の理解や協力が得られない 10 本人との関係がうまくいっていない 11 本人が介護保険サービスの利用を望まない 12 相談する相手がいない 13 介護している家族が交流したり、情報交換する場所がない 14 介護保険サービスなどの情報をどこで入手すればいいのかわからない 15 介護保険サービスの内容に不満（具体的に： ） 16 自分自身に持病や障がいがある 17 その他（ ） 18 特に困っていることはない	介護者がダブルケアの状態になっているかどうかについての設問を追加していただきたい。	介護者調査（利用者調査）の間43及び介護者調査（未利用者調査）の間42に選択肢「7 育児もあり負担が大きい」を追加している。	—	地域福祉課	利用者 [1-2-1] 31 未利用者 [1-2-2] 25

NO	委員名	設問（修正前）	ご意見・ご質問等	ご意見に対する本市の考え方	設問（修正後）	担当課	参考資料 関連ページ
介護支援専門員調査							
15	新田委員 【介護保険部会】 R7. 2. 20	問14-1	栄養・食生活支援の対応に悩んだ時の相談先は、どこ（誰）ですか。 1 施設内の介護支援専門員 2 訪問看護ステーションの認定看護師 3 系列施設の管理栄養士 4 その他	選択肢2の「訪問看護ステーションの認定看護師」は、何の認定看護師なのか。訪問看護ステーションの看護師ではないのか。認定専門看護師はいろいろ種類があるため、確認をお願いしたい。	ご意見を踏まえ、選択肢を修正 栄養・食生活支援の対応に悩んだ時の相談先は、どこ（誰）ですか。 1 施設内の介護支援専門員 2 訪問看護ステーションの認定看護師 （摂食・嚥下障害看護） 3 系列施設の管理栄養士 4 その他	介護保険課	[1-3] 11
16	濱田委員 【介護保険部会】 R7. 2. 20	問15	サービス事業所に関する情報はどこから得ていますか。 1 サービス事業所のパンフレット等 2 サービス事業所のホームページ 3 介護サービス情報公表システム 4 地域包括支援センター 5 居宅介護支援事業者連絡会 6 介護支援専門員同士の情報交換・ロコミ 7 他のサービス事業所の営業活動 8 利用者からの情報や意見・要望 9 区役所が発行する支援マップ等 10 ハートページ 11 在宅医療・介護連携相談支援室 12 その他 13 特に情報収集をおこなっていない	この設問を削除することは結構であるが、近年、市内で有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅が非常に多く整備されていて、賃貸借契約の約款が非常に複雑になっている。施設入所を検討される際に、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所ではそれを読み下して利用者の相談に応じることが難しく、市内に相当数できている無料の老人ホーム紹介センターやウェブサイト相談の際に紹介、情報提供することがあるようだ。介護保険外サービスで、難しければ結構だが、別の設問でもよいので、どの程度の利用があるのか調査していただくと、相談の利用状況などがわかると思う。	この設問は削除する予定であったが、ご意見を踏まえ、選択肢を追加して設問する。 サービス事業所に関する情報はどこから得ていますか。 1 サービス事業所のパンフレット等 2 サービス事業所のホームページ 3 介護サービス情報公表システム 4 地域包括支援センター 5 居宅介護支援事業者連絡会 6 介護支援専門員同士の情報交換・ロコミ 7 他のサービス事業所の営業活動 8 利用者からの情報や意見・要望 9 区役所が発行する支援マップ等 10 ハートページ 11 在宅医療・介護連携相談支援室 12 介護施設や有料老人ホーム等の紹介窓口 13 介護施設や有料老人ホーム等の紹介ホームページ 14 その他 15 特に情報収集をおこなっていない	介護保険課	[1-3] 11
17	中西委員 【認知症施策部会】 R7. 2. 26	問24	介護支援専門員業務において、ACP（人生会議）を実施していますか。 1 知っており、実施をしたことがある 2 知っているが、実施をしたことはない 3 知らなかったが、今後は実施をしたいと思う 4 知らなかったが、今後も実施はしないと思う	選択肢について、知らないのに実施する・しないは唐突すぎるので、勉強してるか等の項目を検討していただきたい。	医療施設等アンケートや前回の高齢者実態調査等と同じ設問としているため、選択肢を変更することは難しいが、本人調査と同様に注釈を入れることで委員の意見を反映させた。 介護支援専門員業務において、ACP（人生会議） ※ を実施していますか。 1 知っており、実施をしたことがある 2 知っているが、実施をしたことはない 3 知らなかったが、今後は実施をしたいと思う 4 知らなかったが、今後も実施はしないと思う ※『ACP（アドバンス・ケア・プランニング）』…自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、意思決定ができない時のために、前もって考え、医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い共有する仕組み。	健康局健康施策課	[1-3] 17

NO	委員名	設問（修正前）	ご意見・ご質問等	ご意見に対する本市の考え方	設問（修正後）	担当課	参考資料 関連ページ
介護支援専門員調査							
18	田中委員 【介護保険部会】 R7. 2. 20	問29 問29-1 問29-2 問29-3 問30 問30-1	あなたは、成年後見制度事業を知っていますか。 1 知っている 2 知らない あなたは、制度対象者に成年後見制度の利用を勧めたいですか。 1 対象者に利用を勧めたい 2 対象者に利用を勧めたくない 3 どちらともいえない 利用を勧めたくない理由は何ですか。 1 利用手続きがわからない 2 利用手続きが難しい 3 申立を行う人がいない 4 利用までに時間がかかる 5 対象者への説明が難しい 6 利用のメリットが無い 7 制度の対象者かどうかわからない 8 その他	成年後見制度は、法定後見と任意後見の2種類ある。法定後見は本人の判断能力が低下している場合に使うため、ケアマネジャーもこちらを想定されるかもしれないが、厚生労働省においても任意後見制度を推進しているため、任意後見制度と法定後見制度を分けて設問した方がよいと思う。	ご意見を踏まえ、法定後見と任意後見とを区別し設問を設定 問29 あなたは、成年後見制度のうち、法定後見（判断能力が十分ではない方について、家庭裁判所により援助者が選任される。後見・保佐・補助の3つに分けられる）制度を知っていますか。（○はひとつ） 1 知っている ⇒問29-1へ 2 知らない ⇒問30へ 問29-1 法定後見制度の利用に関して、相談先として知っているものはどれですか。（○はいくつでも） 1 区役所（区保健福祉センター） 2 地域包括支援センター・総合相談窓口（ランチ） 3 大阪市成年後見支援センター 4 区社会福祉協議会（あんしんさぽと事業等） 5 その他（具体的にお書きください）（ ） 問29-2 あなたは、制度対象者に 法定 後見制度の利用を勧めたいですか 1 対象者に利用を勧めたい 2 対象者に利用を勧めたくない 3 どちらともいえない 問29-3 理由は何ですか。（○はいくつでも） 1 利用手続きがわからない 2 利用手続きが難しい 3 申立を行う人がいない 4 利用までに時間がかかる 5 対象者への説明が難しい 6 利用のメリットが無い 7 制度の対象者かどうかわからない 8 その他 問30 あなたは、成年後見制度のうち、任意後見（将来の判断能力の低下に備えて、あらかじめ自分の意志で契約しておく）制度を知っていますか。（○はひとつ） 1 知っている ⇒問31-1へ 2 知らない ⇒問32へ 問30-1 あなたは、任意後見制度の情報をどこから得ましたか。（○はいくつでも） 1 大阪市のホームページ・広報物等 2 大阪市成年後見支援センターのホームページ・広報物等 3 裁判所のホームページ・広報物等 4 民間団体のホームページ・広報物等 5 研修や講演会等（主催者・開催者： ）	地域福祉課	[1-3] 20, 21
19	榎田委員 早瀬委員 【保健福祉部会】 R7. 2. 27	問36-1	どのようなことで支援が困難となっておりますか。（○はいくつでも） 1 家族の協力が得られないこと（家族間の不仲、理解不足等） 2 利用者の性格によるもの（不満や苦情が多い、介護支援専門員に攻撃的など） 3 経済的理由 4 利用者がサービスの利用を拒否すること（介護拒否） 5 利用者に認知症による諸症状があること 6 利用者が精神疾患のため不安定なこと 7 利用者に医療的な処置があること 8 家族の介護疲れや疾病、障がいによる介護力不足 9 利用者及び家族が介護予防的なケアプランを拒否すること 10 その他	カスタマーハラスメントに関する調査項目はないのか。今後、検討されることはあるのか。	ご意見を踏まえ、設問修正 どのようなことで支援が困難となっておりますか。（○はいくつでも） 1 家族の協力が得られないこと（家族間の不仲、理解不足等） 2 利用者・ ご家族によるカスタマーハラスメント（暴言、暴力、過度な要求 など） 3 経済的理由 4 利用者がサービスの利用を拒否すること（介護拒否） 5 利用者に認知症による諸症状があること 6 利用者が精神疾患のため不安定なこと 7 利用者に医療的な処置があること 8 家族の介護疲れや疾病、障がいによる介護力不足 9 利用者及び家族が介護予防的なケアプランを拒否すること 10 その他	介護保険課	[1-3] 24

No	委員名	設問（修正前）		ご意見・ご質問等	ご意見に対する本市の考え方	設問（修正後）	担当課	参考資料 関連ページ
介護支援専門員調査								
20	中西委員 【認知症施策部会】 R7. 2. 26	問38	担当する認知症や障がい高齢者のケアプラン作成にあたって、特に困難を感じていることはありますか。（〇はいくつでも） 1 独居や近隣に家族がいないなど、利用者の状況について相談できる人がいない 2 認知症の症状が急変したときの対応 3 病気をお持ちの家族への対応 4 家族等介護者との意見の相違 5 サービス事業者や後見人利用等の手続き 6 介護支援専門員やヘルパーなどサービス従事者への妄想、受け入れ拒否 7 医療機関への受診や服薬管理 8 金銭管理の援助 9 着替え、整髪、歯磨き、爪切りなどの清潔保持 10 徘徊・暴力・異食など行動障がいに対する対応 11 幻覚、妄想、うつなど行動・心理症状への対応 12 近隣住民からの苦情 13 その他 14 特にない	10、11ともに行動・心理症状に該当する状態なので、選択肢をまとめても良いのではないかと。	ご意見を踏まえ、設問修正	担当する認知症や障がい高齢者のケアプラン作成にあたって、特に困難を感じていることはありますか。（〇はいくつでも） 1 独居や近隣に家族がいないなど、利用者の状況について相談できる人がいない 2 認知症の症状が急変したときの対応 3 病気をお持ちの家族への対応 4 家族等介護者との意見の相違 5 サービス事業者や後見人利用等の手続き 6 介護支援専門員やヘルパーなどサービス従事者への妄想、受け入れ拒否 7 医療機関への受診や服薬管理 8 金銭管理の援助 9 着替え、整髪、歯磨き、爪切りなどの清潔保持 10 行動・心理症状への対応 11 近隣住民からの苦情 12 その他 13 特にない	地域包括ケア推進課 介護保険課	[1-3] 25
21	新田委員 【介護保険部会】 R7. 2. 20	—	—	ケアマネジャーが最近足りない状況になっているため、今後もケアマネジャーを続けるかどうか、もし続けられないとしたらなぜなのか、例えば他の職種の方が給料がよいからとか、業務が非常に煩雑である、新しいケアマネジャーが入ってこないなど、その辺の調査を可能であれば一度検討していただきたい。	ご意見を踏まえ、居宅介護支援事業所や介護支援専門員に対し、別途アンケート調査を実施する際に、就業・離職の状況や、人材確保・定着・育成等の状況について、調査させていただきます。	—	介護保険課	—
22	大和委員 【保健福祉部会】 R7. 2. 27	—	—	ケアマネージャーの業務が非常に増えているため、厚生労働省がケアプランデータ連携システムを推進しているが、ケアプランデータ連携システムについての質問を入れなくてもよいのか。業務負担を軽減するためのツールの1つとして推奨されているので、業務負担を軽減するために行われているものに対する要望が聞けるといいと思った。データ連携をすると、かなり楽になるようなのだが、サービス事業者としては手間なので、そんなに進んでいないという状態のようであり、保険者の強い後押しがあれば、ケアプランデータ連携システムの導入が進むのではないかという話があり、項目として入れられないかと思った。	厚生労働省のホームページでは、各自治体のケアプランデータ連携システムの導入事業者数が公表されており、全国的に導入事業所は少ない状況である。ケアマネジャーは保険外サービスなど、いわゆるシャドウワークも含め業務が増加しており、システムの導入による負担軽減が急務であるため、市内の居宅介護支援事業所に対し、別途アンケートを実施し、システム導入に向けた課題などの実態を把握したいと考えている。	—	介護保険課	—

NO	委員名	設問（修正前）	ご意見・ご質問等	ご意見に対する本市の考え方	設問（修正後）	担当課	参考資料 関連ページ	
施設調査								
23	光山委員 【介護保険部会】 R7. 2. 20	問10(3)	人材確保・定着・育成の取り組み状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。 【人材確保】 1 就職イベントに参加している 2 公共職業安定所（ハローワーク）に求人情報を掲載している 3 大阪福祉人材支援センターに求人情報を掲載している 4 新聞折込チラシを活用し求人情報を掲載している 5 タウン情報誌やフリーペーパーを活用し求人情報を掲載している 6 就活・転職情報サイト（「リクナビ」「マイナビ転職」等）を活用し求人情報を掲載している 7 ホームページで事業者情報を発信している 8 エックス（X、旧Twitter）やフェイスブック（Facebook）等のSNSを活用し事業者情報を発信している 9 ユーチューブ（YouTube）等の動画共有サイトを活用し事業者情報を発信している 10 人材派遣会社を活用している 11 人材紹介会社を通じた雇用を行っている 12 職員の知人や友人等からの紹介を活用している 13 学校等への人材紹介を依頼している 14 シルバー人材センター等の紹介などにより元気な高齢者を積極的に採用している 15 介護助手（ケアの周辺業務を担う職員）の採用 16 外国人介護人材を採用している 17. 職場体験やインターンシップの受け入れを実施している 【定着】 18 キャリアや能力に見合った給与等の待遇改善を行っている 19 福利厚生 of 充実や休暇を取得しやすくするなど労働環境の改善を行っている 20 ICTや介護ロボットを導入するなど業務負担の軽減を行っている 21 メンタルヘルス対策を講じている 【育成】 22 キャリア形成を意識した職員研修等を行っている 23 知識や技術等を習得するためのスキルアップ研修等を行っている 24 必要な資格を取得する支援を行っている	人材確保の採用ルート、採用をどこから確保しているかというところで、前段の方はほとんど効果がないものが書かれている。最近では、スポットワーク、ワークシェアリングがおそらく効果的な上位になってきていると思うので、選択肢に追加してもよいと思う。 また、定着の部分で、「ICTや介護ロボットを導入」とあるが、この介護ロボットというものは、介護テクノロジーに統一される方向であるため、変更が必要であれば参考にしてほしい。	ご意見を踏まえ、設問修正	人材確保・定着・育成の取り組み状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。 【確保】 1 就職イベントに参加している 2 公共職業安定所（ハローワーク）に求人情報を掲載している 3 大阪福祉人材支援センターに求人情報を掲載している 4 新聞折込チラシを活用し求人情報を掲載している 5 タウン情報誌やフリーペーパーを活用し求人情報を掲載している 6 就活・転職情報サイト（「リクナビ」「マイナビ転職」等）を活用し求人情報を掲載している 7 ホームページで事業者情報を発信している 8 エックス（X、旧Twitter）やフェイスブック（Facebook）等のSNSを活用し事業者情報を発信している 9 ユーチューブ（YouTube）等の動画共有サイトを活用し事業者情報を発信している 10 人材派遣会社を活用している 11 人材紹介会社を通じた雇用を行っている 12 職員の知人や友人等からの紹介を活用している 13 学校等への人材紹介を依頼している 14 シルバー人材センター等の紹介などにより元気な高齢者を積極的に採用している 15 介護助手（ケアの周辺業務を担う職員）を採用している 16 単発・短時間のスポット業務に対する求人を実施している 17 外国人介護人材を採用している 18 職場体験やインターンシップの受け入れを実施している 【定着】 19 キャリアや能力に見合った給与等の待遇改善を行っている 20 福利厚生 of 充実や休暇を取得しやすくするなど労働環境の改善を行っている 21 介護テクノロジー（ICTや介護ロボット等）を導入するなど業務負担の軽減を行っている 22 メンタルヘルス対策を講じている 【育成】 23 キャリア形成を意識した職員研修等を行っている 24 知識や技術等を習得するためのスキルアップ研修等を行っている 25 必要な資格を取得する支援を行っている	地域福祉課	[1-4] 12. 13
24	榎田委員 早瀬委員 【保健福祉部会】 R7. 2. 27	問12	—	カスタマーハラスメントに関する調査項目はないのか。今後、検討されることはあるのか。	ご意見を踏まえ、設問追加 施設における、いわゆる「カスタマーハラスメント」（利用者等からの暴行、脅迫、ひどい暴言、不当な要求等著しい迷惑行為）についておうかがいします。 (1) 直近１年間にカスタマーハラスメントに該当すると判断した事例はありますか。あてはまるものに○をつけてください。 1 ある 2 ない (2) 《問11(1)で「1」とご回答いただいた施設におたずねします。》カスタマーハラスメントと判断される事例の発生状況について、あてはまるものに○をつけてください。 1 以前より増加している 2 以前と変わらない 3 以前より減少している 4 事案が少なく増減はわからない (3) カスタマーハラスメントに関して、今後必要となる対策や課題等についてご自由にお書きください。	高齢施設課	[1-4] 16	

NO	委員名	設問（修正前）	ご意見・ご質問等	ご意見に対する本市の考え方	設問（修正後）	担当課	参考資料 関連ページ	
施設調査								
25	中西委員 【認知症施策部会】 R7. 2. 26	問13	施設での認知症の人への対応における課題について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。 1 職員の認知症についての理解や対応力が十分でない 2 認知症の人への対応力を高めるための研修等に職員を参加させたいが、研修の機会が少なく難しい 3 妄想・幻覚等の認知症の行動・心理症状のある人への対応が困難である 4 認知症を治療する医療機関について、情報が少ない 5 がんや循環器疾患、大腿骨骨折などのほかの傷病（身体合併症）などがある認知症の人を受入れてくれる医療機関について、情報が少ない 6 認知症に関連した相談ができる機関が少ない 7 認知症の人の要介護度が上がったときに、受入れてくれる特養など介護施設が少ない 8 認知症高齢者の対応と比べ、若年性認知症の人への対応が異なるため難しい 9 認知症の人を受入れた際の介護報酬などが低い 10 特に課題はない 11 その他	選択肢の4、5、6番の記載で、関連する情報が少ないという書き方になっているが、これは提供している情報が少ないとも読める。施設の方が入手できないだけ等、現場に届かないというのは、様々なレベルの問題が想定されるので、聞き方を検討いただきたい。	ご意見を踏まえ、設問修正	施設での認知症の人への対応における課題について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。 1 職員の認知症についての理解や対応力が十分でない 2 認知症の人への対応力を高めるための研修等に職員を参加させたいが、研修の機会が少なく難しい 3 妄想・幻覚等の認知症の行動・心理症状のある人への対応が困難である 4 認知症を治療する医療機関について、情報が 入手できていない 5 がんや循環器疾患、大腿骨骨折などのほかの傷病（身体合併症）などがある認知症の人を受入れてくれる医療機関について、情報が 入手できていない 6 認知症に関連した相談ができる機関 を知らない 7 認知症の人の要介護度が上がったときに、受入れてくれる特養など介護施設が少ない 8 認知症高齢者の対応と比べ、若年性認知症の人への対応が異なるため難しい 9 認知症の人を受入れた際の 介護報酬 が低い 10 特に課題はない 11 その他	地域包括ケア推進課	[1-4] 17
26	田中委員 【介護保険部会】 R7. 2. 20	問17(2)	在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えることについておうかがいします。 1 関係機関のリスト・連絡先等の提供 2 現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場 3 連絡で困ったときの相談できる窓口 4 各施設・職種の役割について理解を深める機会 5 介護側のための医療知識の取得・向上の機会 6 医療側のための介護知識の取得・向上の機会 7 情報共有ツール（シート等）の統一 8 在宅医療にかかる負担の軽減 （主治医・副主治医制の導入など） 9 在宅医療にかかる施設基準の緩和 10 診療報酬・介護報酬の評価（増額） 11 患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発 12 その他 13 特にない	選択肢8の「副主治医制の導入」というのは、厚生労働省がこういう質問を例示しているのか。 日本医師会は、主治医・副主治医制ということではなく、かかりつけ医を作りましょうと言っており、副主治医制というのはほぼなく、主治医・副主治医制を導入するという観点は違うと思う。 また、介護支援専門員調査の設問にあった、24区にある在宅医療・介護連携相談支援室と連携するという選択肢を入れてもよいと思う。	令和6年度に実施している医療施設等アンケートにおいて同様の設問を設定しており、そちらとの整合性も勘案して設問のニュアンスが変わることがないように、括弧内の文言を修正します。 また、選択肢に在宅医療・介護連携相談支援室を追加することにつきましては、選択肢3に含まれると考えており、項目の追加は行いません。	在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えることについておうかがいします。 1 関係機関のリスト・連絡先等の提供 2 現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場 3 連絡で困ったときの相談できる窓口 4 各施設・職種の役割について理解を深める機会 5 介護側のための医療知識の取得・向上の機会 6 医療側のための介護知識の取得・向上の機会 7 情報共有ツール（シート等）の統一 8 在宅医療にかかる負担の軽減（ 複数医での対応など ） 9 在宅医療にかかる施設基準の緩和 10 診療報酬・介護報酬の評価（増額） 11 患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発 12 その他 13 特にない	健康局健康施策課	[1-4] 19
	新田委員 【介護保険部会】 R7. 2. 20		選択肢8の「在宅医療にかかる負担の軽減（主治医・副主治医制の導入など）」は、病院の考え方で、1人のドクターだけが持つのではなく、複数の医療機関が24時間連携、チームで連携して、一人一人の負担感を軽減しなさいということではないか。主治医・副主治医制となると、病院の中の患者の主治医制みたいな考え方になるため、もう一度確認して、工夫した方がよいと思う。					

No	委員名	設問（修正前）		ご意見・ご質問等	ご意見に対する本市の考え方	設問（修正後）	担当課	参考資料 関連ページ
施設調査								
27	辻委員 【介護保険部会】 R7. 2. 20	問19	《特養、老健、介護医療院、特定施設、認知症高齢者グループホームにおうかがいします。》 施設における「看取り」の状況についておうかがいします。 （１）看取り介護加算、ターミナルケア加算、医療連携体制加算の届出をされていますか。 （２）昨年度（令和６年４月～令和７年３月）において、施設内で「看取り」を行ったことがありますか。 （３）今後の「看取り」を行うにあたっての課題について、あてはまるものすべてに○をつけてください。	問18、19の設問は、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホームで、特定施設入居者生活介護の指定を受けているところのみが回答するのか。 特定施設入居者生活介護以外のサービス付き高齢者住宅や有料老人ホームは、この設問に回答する必要はないのか。	問18・19に限っていえば、直接介護サービスを提供する施設等における「（介護保険制度内での）看取り（加算含む）」や「医療的ケアへの対応」に関する質問であり、外付けの居宅介護サービスを原則とする「高齢者向けの住まい」と状況が異なるため、施設類型を限って回答させることとしている。 ただし、施設調査自体は、「高齢者向け住まい」も含めて対象とし、その状況を把握することとしているので、ご理解をいただきたい。	—	高齢施設課	[1-4] 20
		問20	《特養、老健、介護医療院におうかがいします。》 昨年度中（令和６年４月～令和７年３月）に医療的な処置等が必要な方が入所されていましたか。また、入所されていた場合は、医療的処置等の種類とその人数も記入してください。					